

平成 30 年度 第 2 回 学校評議員会 記録

日 時：平成 30 年 12 月 11 日（火） 授業公開 13:40～14:35 会議 14:40～16:00

出席者：学校評議員 5 名 学校職員 11 名

1 開会

2 学校長挨拶

学校近況報告

- ・ 中学入試合格発表
- ・ SSHアメリカ研修旅行

3 学校からの説明・評議員各氏からの質疑提言

① 附属中学校の取り組みについて

- ・ SSH事業
- ・ 各種コンクール好成績（統計グラフコンクール等）
- ・ 修学旅行（京都大研修、海外留学生と回る京都市内班別行動）
- ・ 地域イベントへの参加
- ・ アセスの実施
- ・ 長期欠席者数減少
- ・ 硬式テニス男子全国大会へ（3月）

② キャリア教育・センター試験に向けての取り組み等

- ・ 3年生センター特編授業実施中
- ・ センター試験出願者 273 / 276名 98.9%

質疑・提言

- ・ 中学の探求活動（コンクール等に向けた）の時間は、カリキュラムの中でどのように位置づけられているか。
- ・ 中学修学旅行の京大研修はどのように企画したか。院生による研究説明を聴講する場合、始めてその場で耳にするというのではなく、資料を取り寄せ事前準備をして望むのが効果的。
- ・ 硬式テニス北信越優勝の快挙の背景は何か。附属中の特別な要因があるか。
- ・ センター試験出願数は素晴らしい。推薦入試等で合格が早く決まってもセンター試験を受けさせていく指導はとてもいいこと。文系、理系と分けるのではなく、文理融合型の展開を進める動きが大学教育でも進行中。文理どちらの方向に専門的に進むにも、バランスよくセンター試験5教科の勉強には食らいついて欲しい。
- ・ 3年生は現時点で、進むべき分野が定まっているのか。
- ・ 中学生が修学旅行で、留学生と一緒に京都市内を班別行動するという企画はとても良い企画。

③ 生徒指導全般について

- ・ いわゆる問題行動が少ない分、安全安心な学校作りを目標にしている。
- ・ 交通安全指導の充実
- ・ 乗車マナー向上の指導
- ・ アセスの実施

④ SSH・理数科課題研究の取り組みについて

- ・ SSH4期目となり、2年生全員による課題探求の実施
- ・ 理数科、クラブによる各種研究コンクールへの参加と成果

⑤ 学校評価について

- ・ 資料の説明
- ・ 記述アンケートでは厳しい意見も寄せられている

質疑・提言

- ・学校評価資料は細かにまとめられており、よく理解できた。資料中に評価A+Bのパーセントが載せられているが、屋代高校にとって大切なのはむしろC+Dの数値ではないか。その中味を検討していくのが大事。一貫生2クラスの難しさはよく分かる。
- ・アセスを実施することで、こんなことがうまく解決できたというような事例はあるか。QUをやってみるのも良いと思う。
- ・高校生の忙しい実態を思うと、SSHの探求活動と教科の学習・クラブ活動をどう両立しているのか。
- ・新聞にも取り上げられた戸倉上山田の魅力発信事業に、千曲市観光課や商工会と連携して屋代高校生が参加している姿は素晴らしい。地域に入って自己を発信していくコミュニケーション能力は、学力と同様に高めたい能力。
- ・勉強だけでなく、探求活動、部活動等幅広く取り組ませたい。

4 全体を通じての感想・意見・提言等

- ・勉強で成果を上げることも大事だが、社会に出たその後の力を育てることはもっと大事。長い目で評価していくことが大切。
- ・学力をつけるだけではなく、コミュニケーションを図れる力、進んで仕事をし活躍する力、地域で様々な人に愛される人作りを目指して欲しい。屋代中学では、「対話で学ぶ」という目標を掲げている。高校でも同じ視点に立って中高連携をしていただければありがたい。学習障害児童、ディスレクシアの生徒は、必ず何パーセントか存在する。そのような生徒がいることの理解を是非お願いしたい。
- ・5時限目の授業を拝見した。当てられた生徒から答えがでず、近くの生徒同士で話し合う機会を設けたのがとてもよかった。それぞれの生徒が生き生きと話し合いに参加する姿が印象的であった。
- ・学校評価に寄せられた記述アンケートの結果を一瞥すると、大変さを痛感する。問題の背景を理解しようとする前に、目の前の事象だけを見て独断的に言い切ってしまう親、大人も多い。
- ・音楽の授業を拝見した。一貫生と選抜生が仲良くいいハーモニーを醸し出しており素晴らしかった。

5 閉会